

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」戸田校		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51人	(回答者数) 38人
○従業者評価実施期間	2024年12月9日		～ 2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様との関係性を良好に築けている事。	日頃のフィードバックだけでなく、利用者様だけでなく保護者の様子なども気にかけて話をするよう取り組んでいること。	引き続き、聞き取りや傾聴を行っていき関係性を密にしていく。 また、場合によっては助言を行うように努めていく。
2	現在は学習支援だけでなくSSTなど困り感が導入できるようになった。	支援中の様子や、本人との他愛もない話などから保護者の考えと別に本人の苦手なところなどを抽出できるように努めている。ズレなどが生じないよう職員間でも共有を試みるよう努めている。	上記同様、引き続き、聞き取りや傾聴を行っていき困り感など内容を詳細にしていくよう努める。 また、場合によっては助言を行うように努めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者様の枠の持ち方及び考え方の相違点	学習塾やその他の習い事等と天秤にかけてしまい、枠だけ抑えようとする様子があること。実際にはあまり利用がされないという事象が起きていること。	魅力につながる方向性も考えつつ、進路や現状での課題とを保護者と話しながらすめていくように努める。
2	教室環境として狭い事。	狭いながらも、空間を切り替えたりして行っているものの人数や実施したいと考えている事への制限がかかってしまうこと。	物理的に、すぐの引っ越しなどは難しいので可能限り整理整頓を行い可能な限り広く利用できるように努めていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 どもサポート教室「きらり」戸田校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 51人

回収数 38人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	11	2	0	走り回ることがなければ十分だと思う。	安全にも気をつけながら対応してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	37	1	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	7	3	3		手すりなどの物理的なバリアフリーは難しいこと。また雨の日は滑りやすく転倒しやすい為、本人だけでなく保護者へもお声掛けして協力をお願いしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	35	3	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	2	0	1	1時間未満なので短く感じる。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	0	0	2		現在、公表に向けて準備途中となります。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	0	0	1	子どもが学童で宿題が終わらないと宿題だけになる日もあるが仕方ないと思っている。	宿題だけでも、合間にコミュニケーションの練習などを入れたりして対応できるように引き続き努めていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	4	1	3		気づいたことなど、職員間で報告しあい適切なプログラムに変化させる努力はしている。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	12	7	8	11	特に必要としていない。	事業所以外での交流が、現在のところない。必要に応じて検討も視野に入れていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	5	2	7	相談できる場は、設けられていると思う。	FBや相談時、都度質問に対して必要な助言を行うよう努めている。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	37	0	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	3	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	1	0	2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	9	7	15	保護者同士の交流の場が少なく感じる。特に必要としていない。	つながりを持ちたいと感じる保護者も多いため、可能な限り保護者会なども定期的に開催できるよう日程調整も行うよう努めていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	7	0	3		加算や重要事項説明書の更新時などで説明を行っている。また、話が必要な方などについては随時お声掛けも行わせて頂いている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	2	0	3		お子様に合わせた伝え方やニーズの確認を行い対応するよう努めている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	4	2	4	LINEで連絡いただくので、十分だと思う。	ブログや教室内にチラシを掲示したり、LINEなどのツールを活用して発信を行っている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	0	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2	0	7		マニュアル作成と各分野での必要に応じた訓練は実施しているが、こちらも保護者への周知が弱いため、アナウンスもしっかりできるよう努めていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	3	0	7		月1回の訓練は実施しているが、保護者への周知が弱いため、アナウンスもしっかりできるよう努めていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	1	0	4		日々の支援での様子も踏まえ、職員間でも定期的に確認・周知を行い安全配慮も踏まえて支援を行うよう努めている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	1	0	4		ヒヤリハット含む、事故等が発生した際には内容の確認だけでなく後追いで確認も実施するよう努めている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35	0	0	3	元々の不安感から今はまだ行き渋りがある状態。	無理せず、あせらず本人のペースで練習していきましょう。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	5	0	3	勉強が嫌いなので、楽しみとは言えないが来ること自体は嫌がっていない。	楽しみが多くなるよう、内容や順番なども検討して対応できる努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	1	0	2	親子で大変お世話になっています！	こちらこそ、いつもありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」戸田校		公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		現在、最低限の人数は揃っている。	規定上の人数はいるが、日によりもう少し指導員が多いと、より良い支援に繋がるようにも感じるため、人員補給に努めている。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			○	階段やトイレ前に段差がある為、声掛けなどを行い安全への配慮は行っている。 事業所内の整備にはエレベーター等の物理的限界がある為、利用者様にも協力をお願いしている。	段差などに介助が必要なお子様がいる場合は、職員間で介助法を話し確認して対応するよう努めている。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		経年劣化もあり、汚れが目立つ部分などには壁紙などを張るように見た目にも気を付けるよう努めている。	コロナ収束以降も様々な感染症も踏まえ、随時、こまめな消毒や喚起を行い感染予防に努めている。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		状況に応じて、パーテーションで区切るなどして環境を作るように努めている。	人や物が多くなると、より狭くなり場所の確保が難しくなることもある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		日々の中で、できる限り話し合う場を設けて、次の支援に活かしている。	記録や支援で話し合う時間が確保できない時は、LINEなどのツールを用い情報共有を行うよう継続して努めている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		保護者が話しやすいような環境づくりに努めている。	FBや個別の相談にて出てきた要望等について、支援にて反映できるよう引き続き努めている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		公平に声が聴けるよう面談などの機会を設けるように努めている。	声が出ても、全員の意見が一致しないこともあるが可能な限り聞き取るように努めている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	現在、利用者、社内、財団法人発達支援研究所の3者評価となっている。	今後、必要に応じて実施を検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		内部では月に一度は設けられている。	外部についても、必要に応じて参加をしていくように努めている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		現在、調整しており準備ができ次第公表できるよう努めている。	現在、実施はできていない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		6ヶ月に1回は、保護者から聞き取りを行い、指導員からも意見を聞き作成を行っている。 また、職員間でも、情報共有を引き続き継続して行っていく。	指導員間でも、情報共有を引き続き継続して行っていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		定期的にミーティングで、意見交換など共通認識の確認を行っている。	職員間での共通理解に努めている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		支援計画に沿って実施している。	支援計画更新や見直し前に 随時保護者へご相談させて頂く。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		事業所共通のツールを利用している。	職員全員で確認し、実施するよう努めている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		保護者からの要望や児童の状況に合わせ、適宜、支援内容を変更していくように努めている。	ガイドラインは、各スタッフに閲覧するよう働きかけ、支援内容に活かすことができるように改善に努めている。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で活動プログラムの共有を行うよう心掛けています。また、共通理解が必要なこともあるため、随時相談しながら進めていくことを継続していく。 子どもの成果に対し、アプローチの仕方の意見を出し合い教材の工夫などを行っている。	共通理解が必要なこともあるため、随時相談しながら進めていくことを継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		気づいたことなど、職員間で報告しあい適切なプログラムに変化させる努力はしている。	同様の内容であっても、対応する職員でアプローチ方法やレベルを変えるなどの工夫に努めていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本的には1対1での実施になるが、子どもの状況に応じて集団でも実施できるよう努めている。	個別支援事業所ということもあり、個別支援計画に盛り込んでいない。保護者から要望があった際には、活動内容に盛り込むよう努めている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼を行い、確認するよう努めている。	支援直前にも、前回の内容など、必要な事柄の確認をするよう努めている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後ではなく、朝礼や必要に応じてミーティングを実施し、職員間での情報共有を行っている。	その日にできなくとも、時間が許す限り報告などして共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回、支援記録の記載を行うとともに特記事項があれば社内ツールのチャットなどを利用して改善に努めている。	記録内容も定期的に確認し 差異が無いように努めていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも6ヶ月に1回は行うよう努めている。	利用者に対しての最近の様子などを踏まえて会議や共有理解に努めている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		本人が行けなかったと感じるよりは何かしら代わりで頑張れたと思えるよう対象の方には随時お声かけするよう努めている。	現在、不登校気味だったり気分によって学校に行けないお子様もいらっしゃる。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		オープンクエストからクローズドクエストなど、聞き取り方に配慮しながら進められるよう努めている。	簡単なことなどについては、自分で選択できるよう複数準備するよう努めている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		事前に情報確認や把握を行い、できるだけふさわしい人物が対応するように努めている。	定期的な面談を実施し困り感などのお話しをさせて頂くよう努めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		該当機関や保護者から要望があれば対応できるよう努めている。	現在のところ、要望が少ない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者からの情報を基に行なうことが多いが、ホームページなどで確認も行っている。	直接的な情報共有は行ってはいない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要の際には、情報共有や相互理解に努めている。	現在のところ、該当する方が少ない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		該当者がいて、利用者から要望などがあれば対応に努めていきます。	現在のところ、該当する方がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		現在のところ機会が少ないが、今後情報共有する機会を設けていく。	実施した際には、情報共有を図っていくよう努める。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		事業所以外での交流が現在のところない。	必要に応じて望ましいと感じる為、実施も検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		会議や研修など積極的に参加に努めている。	引き続き、会議や研修開催時には参加できるよう努めていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回のFBや相談のあった際に、共通理解できるよう努めている。	フィードバックなどを通して、支援の様子や成長について確認や共有を行うようにしている。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		FBや相談時、都度質問に対して必要な助言を行うよう努めている。	家族支援のスキルアップにつなげられたらと思うため、研修参加などに努めていく。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や変更があった際、適宜行っている。	フリースペースに資料集を閲覧できるよう設置している。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングなど聞き取りを行い、可能な限り要望や本人の状態に合わせて支援できるよう努めている。	更新時期にモニタリングなどで確認する機会が抜けまいよう努めている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者からの情報を基に支援計画を作成している。作成後、説明して同意を得ている。	個別支援計画に記載した内容を面談等を通してご説明させて頂いている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎回のFBや随時相談があった際に、周りの状況に応じて環境に配慮しながら対応を行っている。	保護者も話しやすい環境づくりに努めている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		現時点では保護者向けの会などが少ない。	保護者会など定期的に開催できるよう機会を設けるよう努めている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		要望に対して、まずは傾聴し迅速に取り組めるものから順次取り掛かれるよう努めている。	相談や申し入れがあった場合は、自分だけでなく速やかに周りにも伝えて対応するようにしている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページの校舎ブログは月2で更新し校舎の様子や支援でのお子様で作成した作品などを発信している。	会報ではないが、LINE、インスタグラム、ブログを介して紹介や告知などを行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵のかかるロッカー又はキャビネットにしまい保管に努めている。	書類関係だけでなく支援中の他ブースへの声量も注意するよう気を付けている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様に合わせての伝え方やニーズの確認を行っている。	軽度の肢体不自由のお子様に対しては、声掛けや安全配慮の年齢に応じて椅子での対応が可能なら配慮を行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		現在、地域住民の参加は行っていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練は、月に1回実施している。	マニュアル作成と訓練は実施しているが、保護者への周知が弱いため、アナウンスもしっかりできるように努めている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		設定されている期間で訓練を実施するよう努めている。	指針作成と訓練は実施しているが、保護者への周知が弱いため、アナウンスもしっかりできるように努めている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		面談時や契約時、更新時期に確認に努めている。	契約時や更新時期に確認を行い、職員間でも共有するよう努めている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		本人の体調などにも関することなので、随時支援の合間やFBで確認して職員間でも共有するよう努めている。	現在、食事提供を行っていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		設定されている期間で訓練を実施するよう努めている。	内部研修参加や教室内で、必要に応じて安全に関して話す機会を設けて支援中も含めて検討するよう努めている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		家族と連携がスムーズにできるよう日頃の関りを密にできるように努めている。	計画作成と訓練は実施しているが、保護者への周知が弱いため、アナウンスもしっかりできるように努めている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット用ファイルを作成し、職員全員で共有に努めている。	引き続き、ヒヤリハットにつながりそうなことなども職員間で話をして事前の確認に努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを策定し、研修を実施している。	虐待防止、身体拘束委員会による研修を定期的実施している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明を行っており、現在は必要に応じて支援計画書への記載や同意書を頂いている。	虐待防止、身体拘束委員会による研修を定期的実施している。